

2. 分野別状況 (1) 国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアヘッドクォーター特区 (東京都)	4.8	<p>5</p> <p><u>進捗度</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国企業のアジア統括拠点及び研究開発拠点の誘致数 100% ・外国企業と都内企業との引き合わせ件数 122% ・金融系外国企業の誘致数 125% ・外国企業からの相談件数 220% 	<p>4.1</p> <p><u>規制の特例等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスジェットの利用 手続簡略化 等 <u>財政支援等</u> ・総合特区支援 利子補給金 <u>地域独自の取組</u> ・アジアヘッドクォーター特区 拠点設立補助金 <u>・ビジネス</u> コンシェルジュ 事業 等 	<p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誘致候補となる外国企業を丁寧に絞り込んで直接アプローチし、戦略的に誘致を進めていることが成果として現れている。 ・誘致した外国企業に対する具体的なマッチングニーズの聞き取りや商談会など、都内企業との引き合わせの環境づくりを整えている。 ・金融、手続代行、法律専門サービスなど様々な支援のためのワンストップサービスのケアを丁寧に行っている。 ・実績としては十分といえる。東京の枠組みを超えた更なる発展を期待したいと思う。